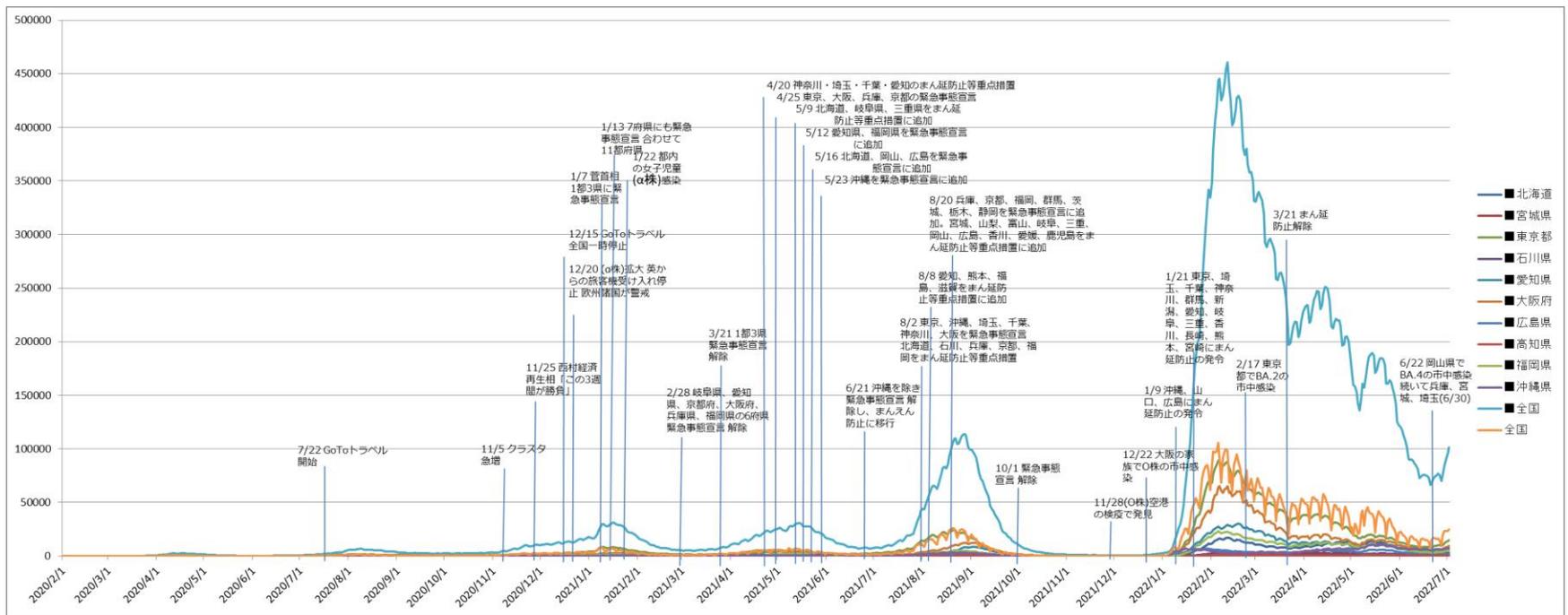


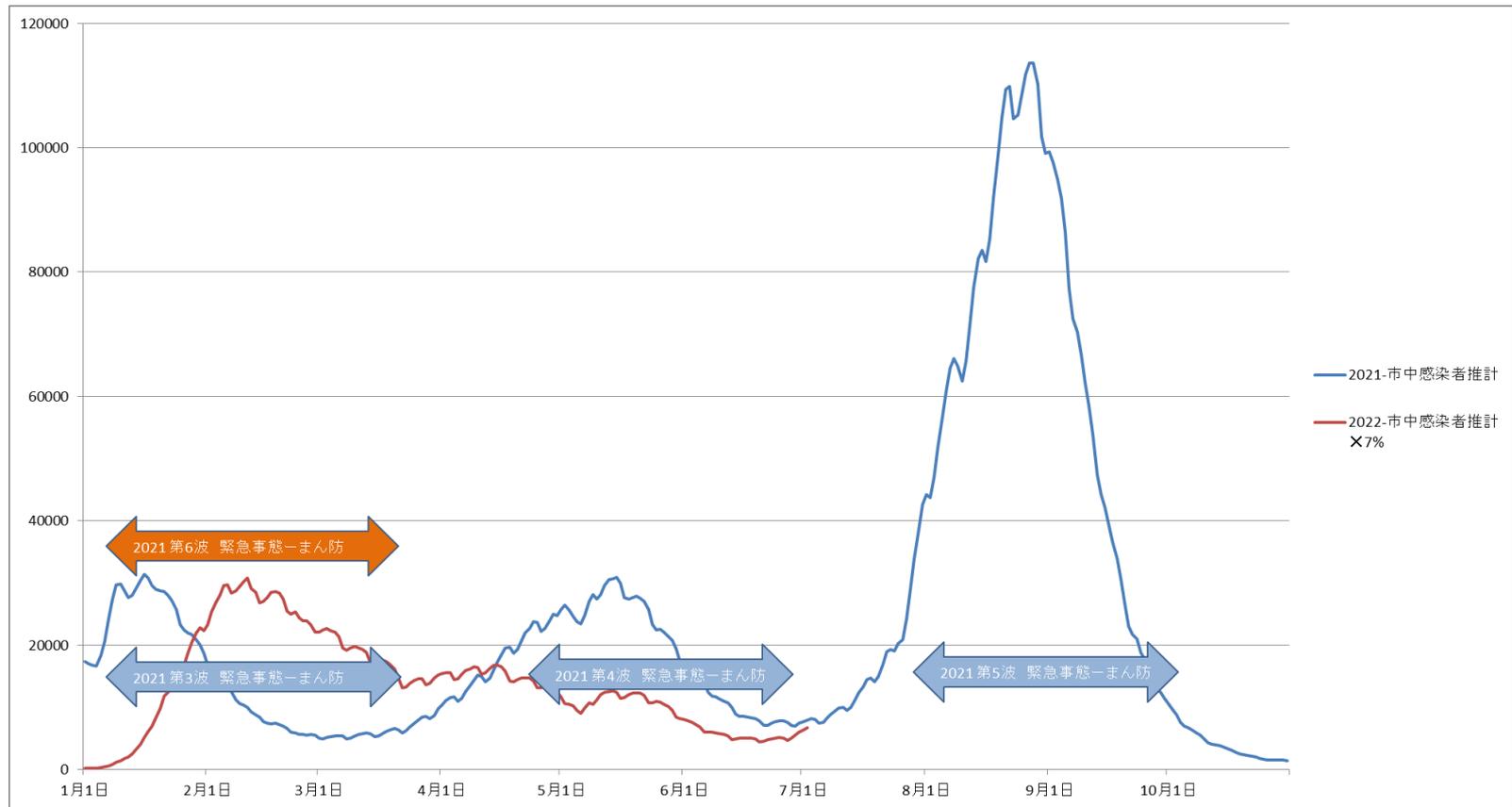
主な都市圏の市中感染者数(■)と全国感染者数(～2022/7/2)

6/17日頃から状況が変化した。増加に転じている。昨年の6月末からの第5波の増加の状況に似ている。6/22 岡山県でBA.4の市中感染。続いて兵庫、宮城、埼玉(6/30)で感染が確認された。第6波は昨年(2021年)の第3波～第5波が連続している。昨年は8月頃の第5波で最大の波が来た。同様の傾向になるとすると、最大の注意が必要。



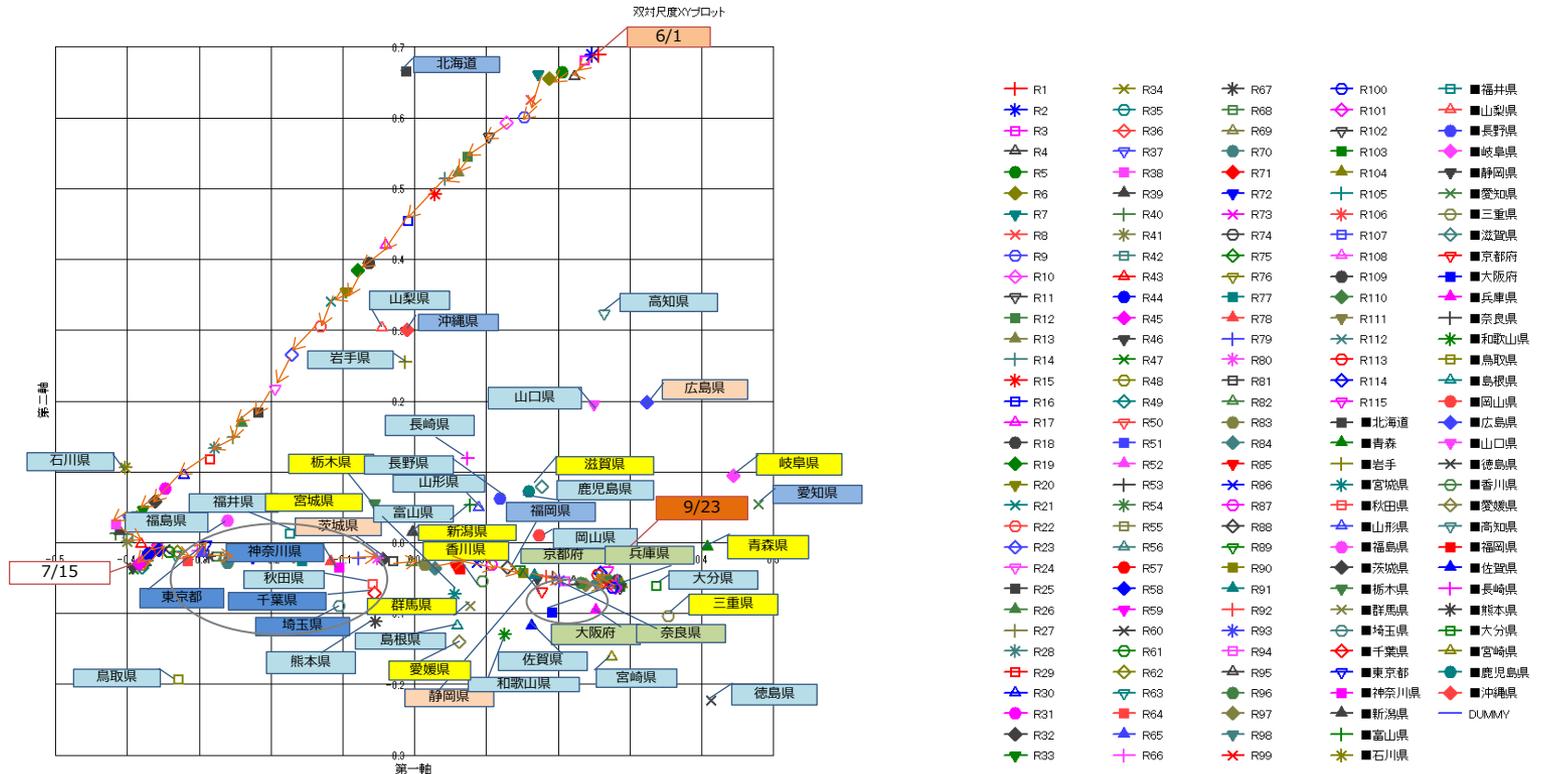
1/1-10/31(2021 vs 2022) 全国市中感染者トレンド分布比較

波の発生時期に多少のずれがあるが、1月～3月、5月～6月、8月～9月の3つの波があるように見える。これが季節に起因するものか、たまたま最初に2月に最初の波が発生し、規制の強化と緩めが繰り返されたためかは不明。スケールを合わせるために、2022年は2021年の7%程度に調整している。2022年は2021年のように5月のゴールデンウィーク前後の山が無く、だらだらと減少している。2021年はΔ株感染者が4月～5月に増加したためで、2022年は4月～5月に感染力の強い変異種が発生しなかったために山が無い。ただし、6月末からBA.4が数県で発生しており6月21日頃を境に増加する動きがある。



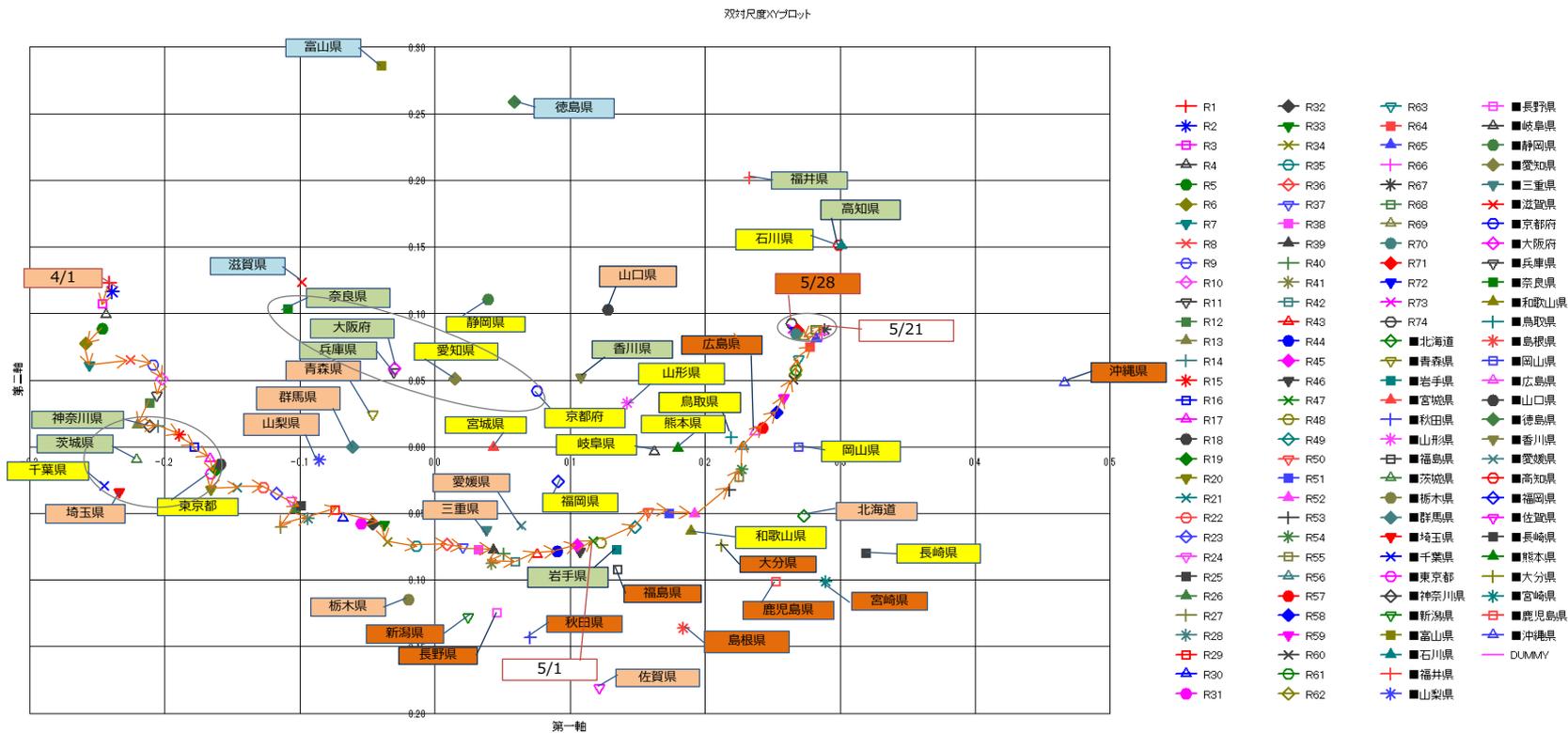
210601-210923 全国市中感染者トレンド分布

2021年7月頃はトレンドの先頭にあるのは関東。7月15日頃に動きが変わり増加に転じた。その後は関東圏がトレンドに先行したがピークの9月頃は中京、関西圏がトレンドを牽引している。



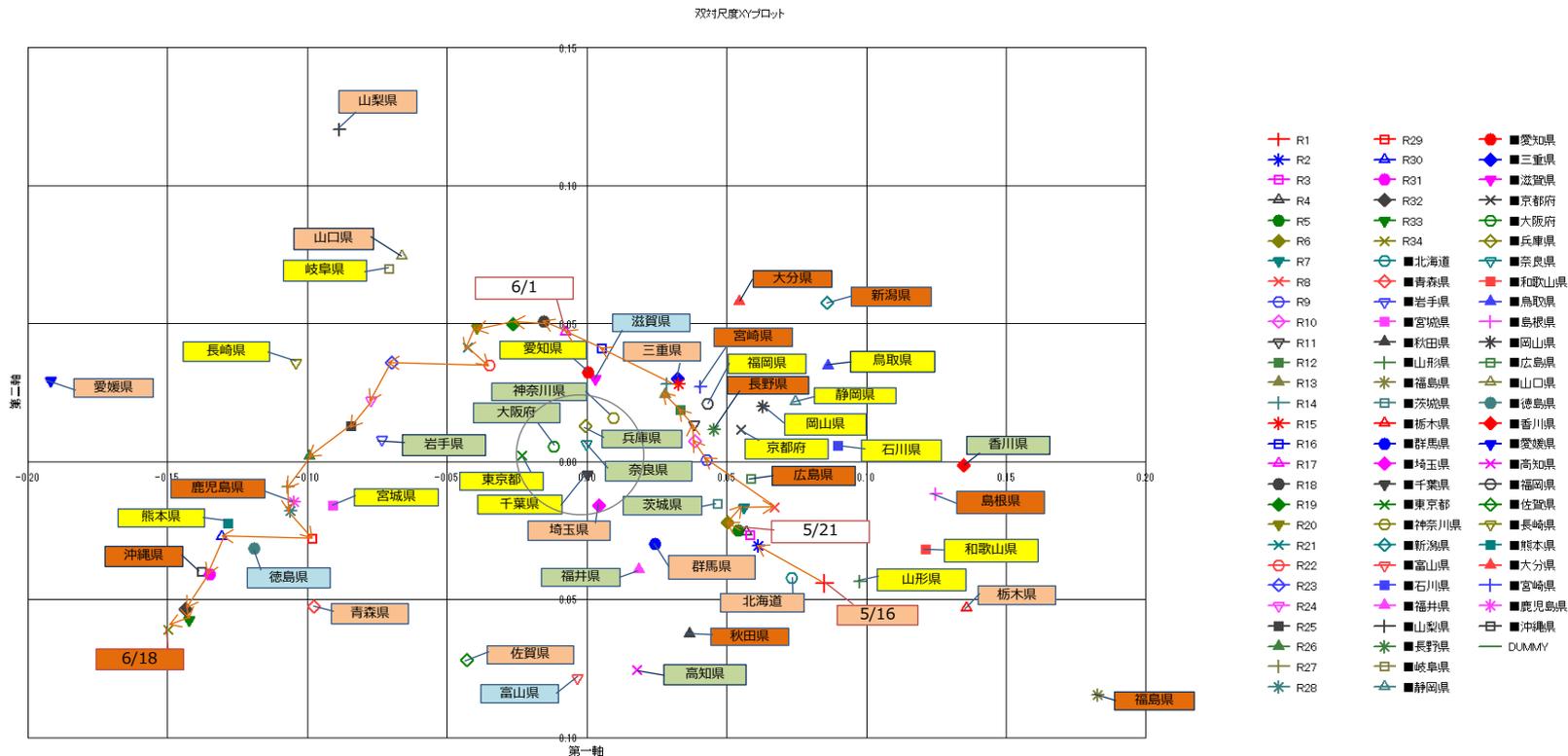
220401-220528 全国市中感染者トレンド分布

大都市圏はトレンドを牽引していない。地方の中規模の都市がトレンドを牽引している。波の大きさは比較的小さい。5月21日の頃から動きが変わった。



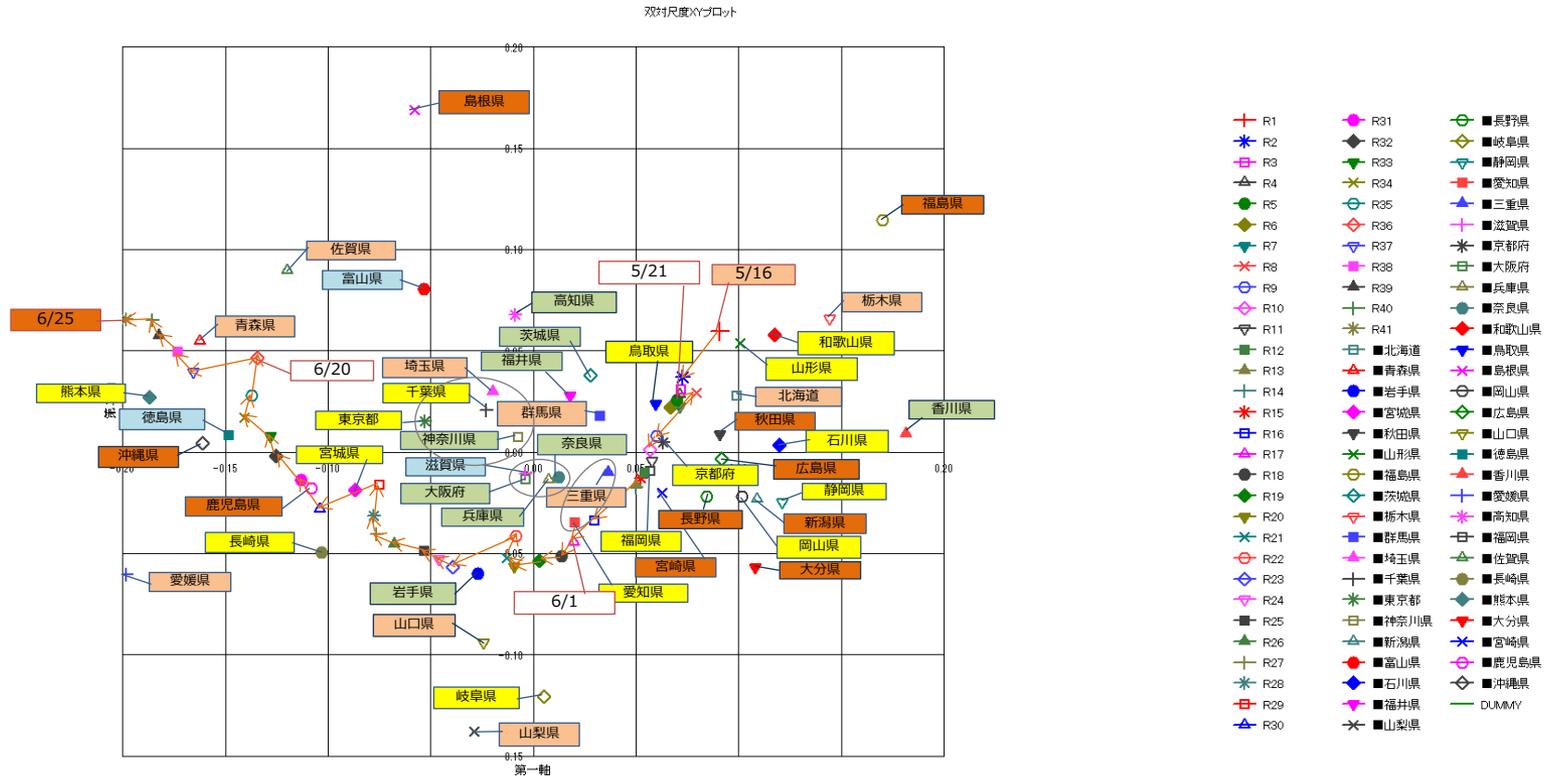
220516-220618 全国市中感染者トレンド分布

5月21日の頃から動きが変わった。



220516-220625 全国市中感染者トレンド分布

6月20日の頃から動きが変わる気配。



220516-220702 全国市中感染者トレンド分布(島根県なし)

2021年はトレンドの先頭にあるのは関東で、中京地区は期間を通してトレンドに緩く沿っていて、関西はほぼ増減が無い。
 今年は6月の初旬には関東、関西、中京の大都市圏が一様にトレンドの中心となっていたが、6月半ば以降では関東が全体のトレンドをけん引する傾向になってきた。
 6月20日頃から動きが変わった。

双対尺度のグラフ

